

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和6年10月分【埋立中共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）、騒音・低周波空気振動】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 騒音・低周波空気振動	II - 10

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和6年10月（大気質、水質、騒音・低周波空気振動）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	10月1日～31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層: 海面下1m 下層: 海底面上2m	10月10日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

表-1(3) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 騒音・低周波空気振動）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)	10月21日～22日	2回/年 (4月、10月)

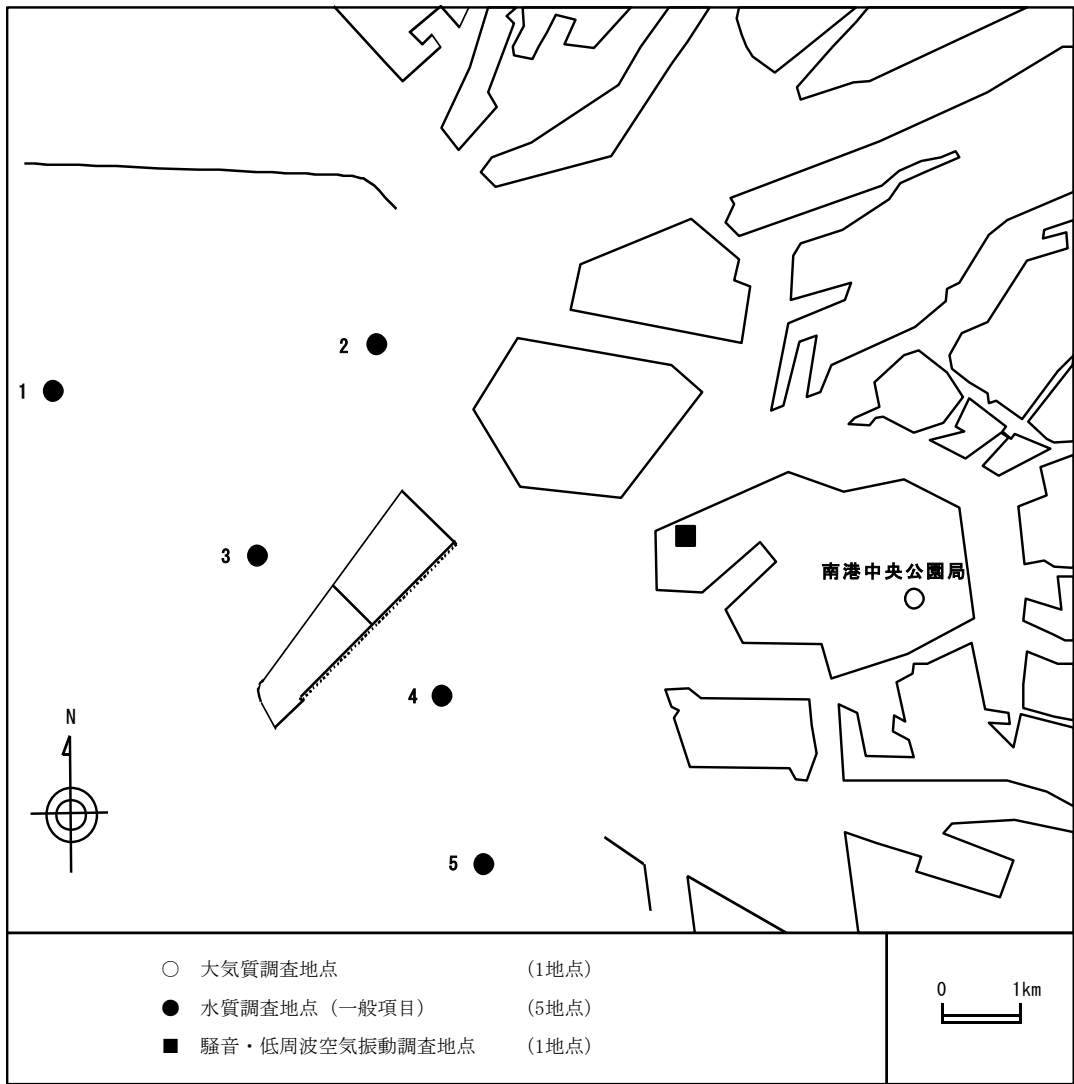
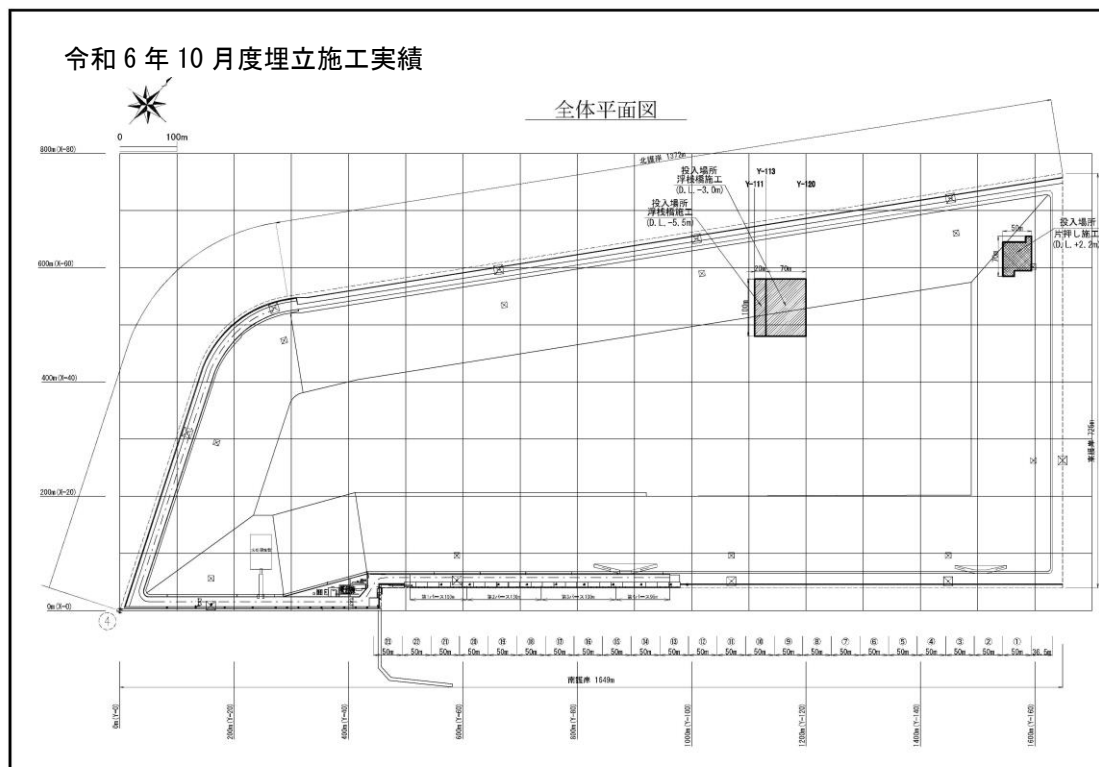


図-1 大気質・水質(一般項目)、騒音・低周波空気振動の調査地点

2. 工事の実施状況

令和6年10月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
7,855,156.2	56.2

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04ppm 以下、1時間値 0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.003ppmであった。また、日平均値の最高値は0.004ppm、1時間値の最高値は0.007ppmであり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.018ppmであった。また、日平均値の最高値は0.029ppmであり、環境基準値を下回っていた。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値 0.20mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.021mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.087mg/m³、1時間値の最高値は0.248mg/m³であった。なお、1時間値が0.20mg/m³を超えた時間数が7時間あった。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.1～8.2、下層で7.9～8.0の範囲であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値の範囲内にあった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.8～3.1mg/L、下層で1.3～1.7mg/Lの範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 3,4 (3.1mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は1.6～4.9mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で6.6～8.0mg/L、下層で3.5～4.8mg/Lの範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 1 (3.5mg/L)、調査地点 2,5 (4.8mg/L)、調査地点 3 (4.6mg/L) 及び調査地点 4 (4.4mg/L) であった。事業実施前の当海域における水

質調査の結果（平成 12 年度）は下層で 0.6～11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.40～0.84mg/L、下層で 0.26～0.37mg/L の範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.84mg/L)、調査地点 2 (0.76mg/L) 及び調査地点 4 (0.65mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.059～0.098mg/L、下層で 0.042～0.066mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.086mg/L)、調査地点 2 (0.098mg/L)、調査地点 3 (0.059mg/L)、調査地点 4 (0.078mg/L) 及び調査地点 5 (0.075mg/L)、下層の調査地点 1 (0.054mg/L)、調査地点 3 (0.066mg/L) 及び調査地点 4 (0.065mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.021～0.15mg/L、下層で 0.020～0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層でいずれも 1 度(カリン)、下層で 1～2 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 2～3mg/L、下層で報告下限値未満 (<1 mg/L) ～2mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 11～17µg/L、下層で 1.4～5.6µg/L の範囲であった。

(3) 騒音・低周波空気振動 [騒音・振動様式第1～4号]

1) 騒音【環境基準値：昼間 60 デシベル以下、夜間 50 デシベル以下】

騒音レベル (L_{Aeq}) は、昼間 (午前 6 時～午後 10 時) は平均値 50 デシベル、夜間 (午後 10 時～午前 6 時) は平均値 43 デシベルであり、昼間・夜間ともに環境基準値を下回っていた。

2) 低周波空気振動

低周波空気振動の音圧レベル (L_{50}) は、作業時間帯 (午前 9 時～午後 6 時) において平均値 71 デシベルであり、環境影響評価時の予測値 (73 デシベル) を下回る値であった。図-3 に低周波空気振動の音圧レベルの時間推移を示す。

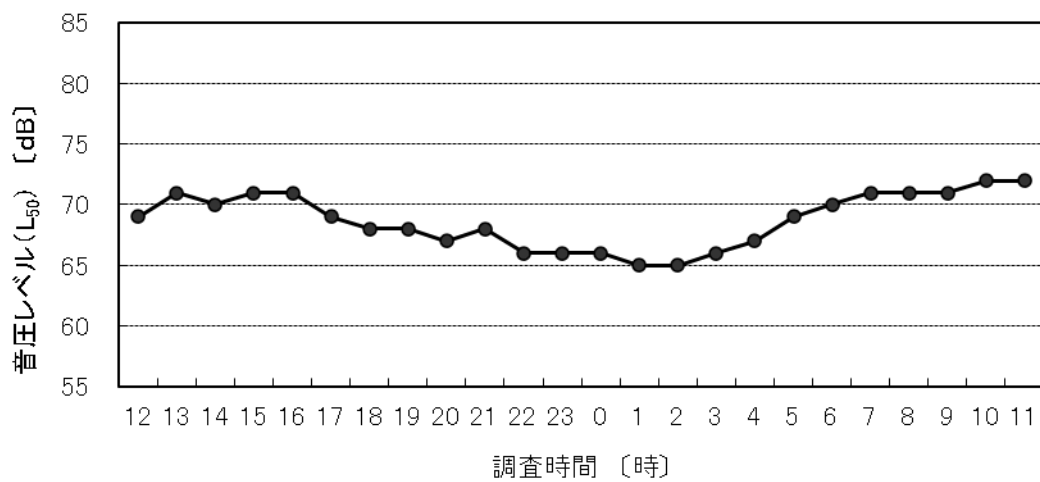


図-3 低周波空気振動の音圧レベル(L_{50})の時間推移

《 参考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デシベル以下	50 デシベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～午前6時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [令和6年10月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	737
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	709
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	7
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和6年10月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)
日	1 (火)	0.020	0.031
	2 (水)	0.018	0.032
	3 (木)	0.022	0.037
	4 (金)	0.021	0.029
	5 (土)	0.013	0.023
	6 (日)	0.016	0.047
	7 (月)	0.018	0.023
	8 (火)	0.015	0.024
	9 (水)	0.020	0.034
	10 (木)	0.015	0.035
別	11 (金)	0.018	0.034
	12 (土)	0.016	0.030
	13 (日)	0.007	0.011
	14 (月)	0.009	0.016
	15 (火)	0.025	0.038
	16 (水)	0.021	0.028
	17 (木)	0.023	0.051
	18 (金)	0.027	0.055
	19 (土)	0.016	0.025
	20 (日)	0.006	0.012
値	21 (月)	0.011	0.024
	22 (火)	0.019	0.031
	23 (水)	0.022	0.037
	24 (木)	0.022	0.040
	25 (金)	0.016	0.024
	26 (土)	0.027	0.041
	27 (日)	0.018	0.034
	28 (月)	0.017	0.032
	29 (火)	0.021	0.032
	30 (水)	0.022	0.038
	31 (木)	0.029	0.045
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.018	
日平均値の最高値 (ppm)		0.029	
1時間値の最高値 (ppm)		0.055	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和6年10月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (火)	0.066	0.205
	2 (水)	0.046	0.191
	3 (木)	0.087	0.248
	4 (金)	0.015	0.088
	5 (土)	0.031	0.224
	6 (日)	0.039	0.207
	7 (月)	0.041	0.195
	8 (火)	0.043	0.198
	9 (水)	0.038	0.160
	10 (木)	0.009	0.011
別	11 (金)	0.008	0.012
	12 (土)	0.008	0.013
	13 (日)	0.007	0.010
	14 (月)	0.011	0.014
	15 (火)	0.013	0.015
	16 (水)	(0.011)	(0.014)
	17 (木)	(0.012)	(0.015)
	18 (金)	0.011	0.019
	19 (土)	0.008	0.017
	20 (日)	0.007	0.012
値	21 (月)	0.007	0.010
	22 (火)	0.009	0.012
	23 (水)	0.011	0.018
	24 (木)	0.013	0.018
	25 (金)	0.010	0.015
	26 (土)	0.017	0.026
	27 (日)	0.015	0.030
	28 (月)	0.008	0.018
	29 (火)	0.011	0.016
	30 (水)	0.008	0.014
	31 (木)	0.012	0.017
有効測定日数 (日)		29	
測定時間 (時間)		709	
月平均値 (mg/m ³)		0.021	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.087	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.248	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		7	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[令和6年10月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (火)	1.0	2.5	WSW	WSW
	2 (水)	1.3	2.4	NNE	NNE
	3 (木)	1.1	2.2	NE	NNE
	4 (金)	1.0	2.5	N	NNE
	5 (土)	1.3	2.1	N	NNE
	6 (日)	0.8	1.5	NNE	NNE
	7 (月)	0.9	2.3	WSW	ESE
	8 (火)	1.1	2.8	NNE	NNE
	9 (水)	1.1	2.4	NNE	N
	10 (木)	1.1	2.7	NNE	NNE
別	11 (金)	1.0	2.2	W	NNE
	12 (土)	1.0	1.9	N	NNE
	13 (日)	1.2	3.0	NNE	NNE
	14 (月)	1.1	2.6	W	E
	15 (火)	0.7	1.8	WNW	NE
	16 (水)	0.9	1.7	NNE	NNE
	17 (木)	1.1	1.7	N	NNE
	18 (金)	0.9	2.7	ESE	ESE
	19 (土)	1.3	3.7	NNE	NNE
	20 (日)	2.0	3.4	NNE	NNE
値	21 (月)	1.7	2.9	E	ENE
	22 (火)	1.1	2.1	E	NNE
	23 (水)	0.9	2.4	SSW	W
	24 (木)	0.9	1.8	N	NNE
	25 (金)	1.3	2.0	N, NNE	NNE
	26 (土)	0.6	1.1	NNE	N
	27 (日)	0.5	1.1	NNE	NE
	28 (月)	1.3	3.4	NNE	NNE
	29 (火)	1.2	1.6	NNE	NNE
	30 (水)	1.1	3.1	NNE	NNE
	31 (木)	0.8	1.6	NNE	NE
測定時間（時間）		744			
月平均風速（m/s）		1.1			
月最大風速（m/s）		3.7			
月最多風向（16方位）		NNE			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

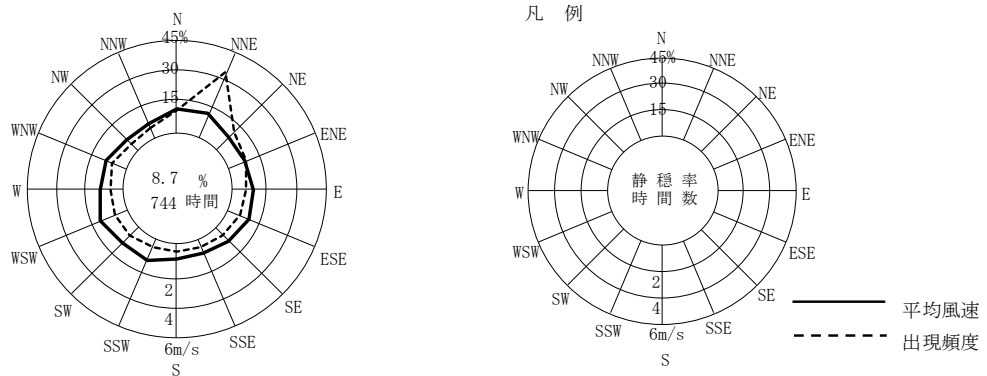
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和6年10月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	245	75	54	36	29	18	7	6	5	19	24	21	33	13	23	71	65	744
頻度 (%)	32.9	10.1	7.3	4.8	3.9	2.4	0.9	0.8	0.7	2.6	3.2	2.8	4.4	1.7	3.1	9.5	8.7	-
平均風速 (m/s)	1.4	0.9	0.9	1.1	1.2	0.8	0.6	0.6	1.1	1.0	1.4	1.0	1.0	0.6	0.7	1.3	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和6年10月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[令和6年10月分]

調査日：令和6年10月10日

項目	調査点	1	2	3	4	5	最小値 ~ 最大値		平均値
	時刻		8:46	8:20	9:04	9:55	9:35	-	
透明度	[m]	2.9	3.4	3.0	2.5	3.1	2.5	~ 3.4	3.0
水温		23.6	24.7	24.1	24.3	24.4	23.6	~ 24.7	24.2
	[°C]	24.7	24.8	24.8	24.8	24.9	24.7	~ 24.9	24.8
塩分		28.5	31.0	30.8	29.4	30.6	28.5	~ 31.0	30.1
	[－]	32.7	32.6	32.6	32.7	32.5	32.5	~ 32.7	32.6
濁度		1	1	1	1	1	1	~ 1	1
	[度(カリン)]	2	1	1	1	1	1	~ 2	1
浮遊物質 (SS)		2	3	2	3	3	2	~ 3	3
	[mg/L]	<1	<1	2	2	1	<1	~ 2	1
水素イオン濃度 (pH)		8.1	8.1	8.2	8.2	8.2	8.1	~ 8.2	-
	[－]	7.9	8.0	8.0	8.0	8.0	7.9	~ 8.0	-
化学的酸素要求量 (COD)		2.8	3.0	3.1	3.1	2.8	2.8	~ 3.1	3.0
	[mg/L]	1.7	1.7	1.7	1.4	1.3	1.3	~ 1.7	1.6
溶存酸素量 (DO)	濃度	7.0	6.6	6.6	8.0	7.6	6.6	~ 8.0	7.2
	[mg/L]	3.5	4.8	4.6	4.4	4.8	3.5	~ 4.8	4.4
	飽和度	98	95	94	113	109	94	~ 113	102
	[%]	51	70	67	64	70	51	~ 70	64
全窒素 (T-N)		0.84	0.76	0.40	0.65	0.55	0.40	~ 0.84	0.64
	[mg/L]	0.32	0.26	0.33	0.37	0.29	0.26	~ 0.37	0.31
全磷 (T-P)		0.086	0.098	0.059	0.078	0.075	0.059	~ 0.098	0.079
	[mg/L]	0.054	0.042	0.066	0.065	0.049	0.042	~ 0.066	0.055
クロロフィル a (chl. a)		11	13	12	17	14	11	~ 17	13
	[μg/L]	1.6	1.4	3.6	5.6	2.6	1.4	~ 5.6	3.0

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

騒音・振動様式第1号（埋立地関連）

環境騒音調査結果総括表[令和6年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和6年10月21日午後0時～10月22日午後0時

時間 区分	騒音レベル (デシベル)												主音源
	L _{A5}			L _{A50}			L _{A95}			L _{Aeq}			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
昼間	51	43	61	46	42	49	44	40	46	50	42	55	鳥, 虫, 車両, 船舶, 周辺施設
夜間	45	43	49	42	41	46	41	39	44	43	41	47	虫, 車両, 船舶, 周辺施設

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。

2. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

環境騒音調査結果総括表[令和6年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和6年10月21日～22日

調査時間	時間の区分	地域の類型	環境基準値	騒音レベル (デシベル)				主音源
				L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	
12:00～	昼間	C	60dB以下	49	44	42	47	鳥、虫、車両、船舶
13:00～				50	45	43	47	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
14:00～				49	46	44	47	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
15:00～				51	47	45	49	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
16:00～				54	48	46	50	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
17:00～				52	47	44	49	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
18:00～				48	45	43	46	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
19:00～				47	44	43	45	虫、車両、船舶、周辺施設
20:00～				46	43	41	44	虫、車両、船舶、周辺施設
21:00～				43	42	40	42	虫、車両、船舶、周辺施設
22:00～	夜間	C	50dB以下	45	42	40	42	虫、車両、船舶、周辺施設
23:00～				43	41	39	41	虫、車両、船舶
00:00～				44	41	39	41	虫、車両、船舶
01:00～				43	41	39	41	虫、車両、船舶
02:00～				45	43	41	43	虫、車両、船舶
03:00～				45	43	41	43	虫、車両、船舶
04:00～				46	44	43	44	虫、車両、船舶
05:00～	49	46	44	47	虫、車両、船舶			
06:00～	昼間	C	60dB以下	54	47	44	50	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
07:00～				61	49	45	55	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
08:00～				57	48	44	53	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
09:00～				54	46	44	50	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
10:00～				52	47	45	49	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
11:00～				57	47	43	53	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
最小値				43	41	39	41	
最大値				61	49	46	55	
平均値				49	45	43	48	

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。

注：2. 環境基準の評価はL_{Aeq}による。

低周波空気振動調査結果総括表[令和6年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和6年10月21日午後0時～10月22日午後0時

音圧レベル（デシベル）												風速 (m/s)	
L ₅			L ₅₀			L ₉₅			L _{max}			最小	最大
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大		
73	72	75	71	69	72	69	67	71	77	74	80	0.1	0.7

注：1. 平均値は算術平均値である。

注：2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

低周波空気振動調査結果総括表[令和6年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：令和6年10月21日～22日

調査時間	音圧レベル (デシベル)				風速(m/s)	
	L ₅	L ₅₀	L ₉₅	L _{max}	最小	最大
12:00～	72	69	68	74	0.4	0.7
13:00～	72	71	69	75	0.3	0.6
14:00～	73	70	69	78	0.3	0.5
15:00～	73	71	69	77	0.3	0.6
16:00～	74	71	69	78	0.3	0.6
17:00～	72	69	67	76	0.3	0.7
18:00～	70	68	66	72	0.3	0.6
19:00～	69	68	66	72	0.3	0.6
20:00～	69	67	66	69	0.2	0.3
21:00～	69	68	67	69	0.0	0.3
22:00～	67	66	65	68	0.0	0.1
23:00～	67	66	65	68	0.1	0.2
00:00～	67	66	65	68	0.0	0.1
01:00～	66	65	64	67	0.0	0.2
02:00～	66	65	64	68	0.0	0.2
03:00～	67	66	65	69	0.0	0.2
04:00～	69	67	66	70	0.1	0.2
05:00～	70	69	68	75	0.0	0.1
06:00～	72	70	68	76	0.0	0.2
07:00～	72	71	70	74	0.1	0.3
08:00～	72	71	69	74	0.2	0.4
09:00～	72	71	69	75	0.2	0.4
10:00～	75	72	71	77	0.2	0.3
11:00～	75	72	70	80	0.1	0.3
最小値	66	65	64	67	0.0	0.1
最大値	75	72	71	80	0.4	0.7
平均値	70	69	67	73	0.2	0.4